

令和5年度第1回 小郡市男女共同参画社会推進審議会 会議概要

○日時

令和5年8月28日（月） 10時30分～11時30分

○場所

小郡市役所 西別館3階 大会議室

○出席者

- ・出席委員 12名中10名
- ・事務局

○次第

1 開会

2 委員自己紹介

3 会長あいさつ

副会長あいさつ（会長欠席のため）

4 議題

(1) 第2次小郡市男女共同参画の令和4年度実施状況報告について

①令和4年度重点施策

②担当課が【全庁】の施策

(事務局説明)

(議長：副会長)

事務局の説明に意見、質問はないか。

(委員)

資料2の2ページ目に「審議会における女性の登用率が40%を下回った場合、その所管課が理由書を市長決裁とする」とあるが、理由書の内容を把握しているか。また県下の女性区長の数が増えている。理由が分かれば知りたい。

(事務局)

理由書にある理由で多いのは、審議会委員には各団体の長などを充て職に指定して出してもらっているが、男性が役職に就く場合が多いのが現状である。理由書との取り組みを行っている中で1年実施して改善が見られず、市長も重大な課題と受け止めている。最近、審議会委員の内諾を取る前の段階で、事前に市長と協議する取扱いに変わっている。充て職を見直したり、公募委員を新たに加えたりして女性委員を募るなど、市長からも意見があり見直しを進めている。

区長については、行政区の中で女性役員が少なかったことが実態としてあると思う。区長になると、地域のトップであるためいきなり就任するのは難しいところがある。まずは地域の中で女性の役員比率を高め、その中で区長をとアドバイスしているが、そこま

で至っていないのが現状である。

(委員)

会長も男性と女性の2人にするなど、活動しながらスキルアップするOJTのような勉強の場がないと、いきなり頼まれてもなかなか現場に出てこない。区の中では女性が一番情報を持ちやすく、そのような人たちが一緒に活動していけるように環境整備を頑張してほしい。

(委員)

審議会における女性の登用率が40%を下回ったことは結果になるが、そういう結果にならないように努力しているということでもいいか。

(事務局)

市長からそういう話が2、3週間ほど前にあり、運用を始めたばかりであるため事例は出ていない。

(委員)

そこが分かるような表現に変えたらどうかというのが1つ。もう1つは、「審議会委員になりうる女性の候補者名簿を作成した」と書いてあるが、どのような形で候補者を見つけていくのか。

(事務局)

審議会委員に推薦できる女性を各課から募り、市長からも十数名挙げてもらっている。3つの審議会まで兼任が可能で、ある審議会に属しながら3枠までに至っていない人を推薦していただくなど、要望したいときは総務広報課に問い合わせさせていただき、マッチングができれば担当課から紹介していただいた方につなぐことを考えている。

(委員)

市長が「推進すべき」と自ら動いていることは評価できる。右側のページの中央にある(3)で、1行目の後ろにあるのは「男女混合名簿を活用し」ではないか。

(議長)

先ほどの意見は良かったと思う。副何々長からという形の段階を進めていただくと、自然と「長」という名の中に女性が増えると思う。その辺の足場づくりを手伝っていただければと思う。

(委員)

評価全体としては、施策の中に男女共同参画について入れていただき良かったと思う。「見える化」され、参加人数や開催箇所数など次の課題につなげていくなどいい評価になったと思う。評価は担当課で年1回、審議会に先だつて行っているのか。施策のどこに男女共同参画の意識を盛り込むか見えてこないときもあると思う。年度途中で1回、何らかの幹部会議でそれぞれの部署の進捗を取りまとめ、全庁で情報共有すればどうか。年度当初と最後だけだと、異動もあるだろうし、状況も変わることもあると思う。

(事務局)

例えばイベントなどは年度途中であれば終わっていないものもある。途中段階でも各課で課題と思っているところなどは出してもらおう場として検討したい。

(委員)

9ページにある「おごおり女性ホットライン」の活用について、去年は自立支援員のスキルアップを目指し充実に努めるということだった。今年記載がないのは充実したからか。窓口にはさまざまな相談が上がってくると思うが、相談員が少ない中で大変だと思う。窓口は正確な情報を求められると思うが、相談員が疲弊しないような、次にスムーズに連携してつなげるスキルアップは続けてほしいと思った。その辺はしっかり続けてほしい。

(事務局)

次年度へ向けてというところでは、昨年記述があった自立支援のスキルアップについて今年には書かれていないが、今年度も既に研修を受けるなどしている。表現的には記載はないが、継続していると理解していただければと思う。

(委員)

政治や経済分野ではスキルを持った女性がリーダーになる人が出てきて、現場で力を発揮し女性の力が認められていけば、女性参画は自ずと進んでいくと思う。23ページの(2)のところにプロポーザル方式で選定したコンサルタント会社を介して、市民意識調査を行ったと書いてある。公共契約の機会をとらえて事業者にどれだけ女性の活躍を求めているかという調査を行ったのか。

(事務局)

プロポーザル形式によって業者選定を行い、社内の女性登用などの評価も踏まえ選定した。

(委員)

11ページで、ホームページなどを通じて啓発したとあったが、ホームページは関心がある人しか見ない。今年は301人から引き下げられ、101人以上の常用雇用者を抱える事業主を対象に一般事業主行動計画の策定が義務付けられた。しかし、市内の小さな企業まで把握することは大変だと思う。昨年も応募形式や資格審査の登録の際に、男女共同参画の行動計画やチェックリストなどを入れたほうがいいのかと提案したが、県内のある自治体では、入札参加資格申請書に事業所の中で男女問わず支援していくことは責務という一文を入れて、行動計画を作るかどうかアンケート調査を実施したという。随契登録などの際に、市が推進している項目であるため事業所も考えてほしいと、アンケートのような形で報告書を提出してもらっている。その中で良い取り組みがあれば、広報などで知らせる他の企業に関心を持ってもらう働きかけをしている。小郡市も一般事業主行動計画についてお知らせが書かれていたが、随契登録の申請配布資料などに挟み込むなどしてはどうか。

(事務局)

指摘のとおり、まず情報から伝えて、会社でも意識啓発をとらえていただくように取り組みたい。

(議長)

皆さんから頂いた意見に留意し、事務局で報告書をまとめていただくように要望する。それでは、次の議題に移る。(2)「第2次小郡市男女共同参画計画の令和5年度重点施策について」の説明を事務局より願います。

(2) 第2次小郡市男女共同参画の令和5年度重点施策について

(事務局説明)

(議長)

事務局の説明に意見、質問はないか。

(委員)

「2 多様な家庭に対する支援の充実」で、「男女共同参画の視点を持ちながら、保護者や祖父母への啓発・情報提供を行う」と書かれている。支援対象が保護者と祖父母が最も重要との考えで記されたと思うが、孤立した保護者への地域住民への理解や一般市民への理解を踏まえて工夫していただければと思う。

(事務局)

「保護者、祖父母」と特定の書き方になっているが、社会全体としてそういう意識を持っていただくという趣旨の意見を踏まえ、事務局で修正案を検討したい。

(議長)

委員から頂いた意見で、令和5年度の取り組みを進めていただくようお願いする。(3)

「第3次小郡市男女共同参画計画の策定について」に関し、「諮問」と「経過と骨子案について」の説明を併せて願います。

(3) 第3次小郡市男女共同参画計画の策定について

①第3次小郡市男女共同参画計画策定に関する諮問について

②第3次小郡市男女共同参画計画策定の経過と骨子案について

(事務局説明)

(議長)

事務局の説明に質問、意見はないか。

(委員)

「3 現状・課題の整理」の「〇男女がいいきと活躍できる」の項目で、「女性の社会参加が求められています」とあるのは、「女性の社会参画」ではないか。公的・私的機関を問わず、あらゆる分野で意思決定の場に携わるところに社会参画という言葉ができたのであって、単なる集まるものではない。さらに、「育児休業制度や介護休業制度を『利用したいが利用できそうにないと思う』』と書いてあるが、この文脈で読むと、

女性だけが主語になって偏ってしまう。「男女ともに」と男性も加えてはどうか。

(事務局)

「市民アンケート結果では、男性、女性とも」という書き方がいいということか。

(委員)

「市民アンケートでは、男女ともに育児休業制度や介護休業制度を『利用したいが～』という回答が多かった」との形にするか、「社会参加（参画）が求められています」で区切るかである。

(事務局)

一度切った上で「男性、女性ともにアンケート結果では」とすればどうか。

(委員)

続く文章の「地域活動や地域防災活動において、男女の視点が必要だという指摘も見られます」とあるが、長年指摘されていることである。「視点が必要だ」や「必要だと指摘されています」でもいいのではないか。「指摘も見られます」との生やさしい表現でいいのかと思っている。

(事務局)

「指摘」を違う言葉に置き換えるか、「課題としてある」との意味の書き方に修正したい。

(議長)

他にないか。なければ本日の議題を終了する。進行を事務局にお返しする。

5 今後のスケジュール

(事務局が説明)

6 閉会